

高校の探究では大学研究のミニチュア版ではなく
自分の身近な疑問にこだわってほしい
松下佳代先生(京都大学教育学研究科教授)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

(ご紹介)



松下佳代
まつした かよ

京都大学大学院教育学研究科 教授

京都大学博士（教育学）。群馬大学教育学部助教授、
京都大学高等教育研究開発推進センター 教授を経て、
2022年10月より現職



教育方法学（特に、能力論、学習論、評価論）、大学教育学
大学や中学校・高校をフィールドに研究と実践支援を行っています

大学教育学会会長、日本カリキュラム学会代表理事
中央教育審議会大学分科会臨時委員、日本学会議会員 など



No201

**(鼎談) 開発者を交えて
対話型論証モデル再び**

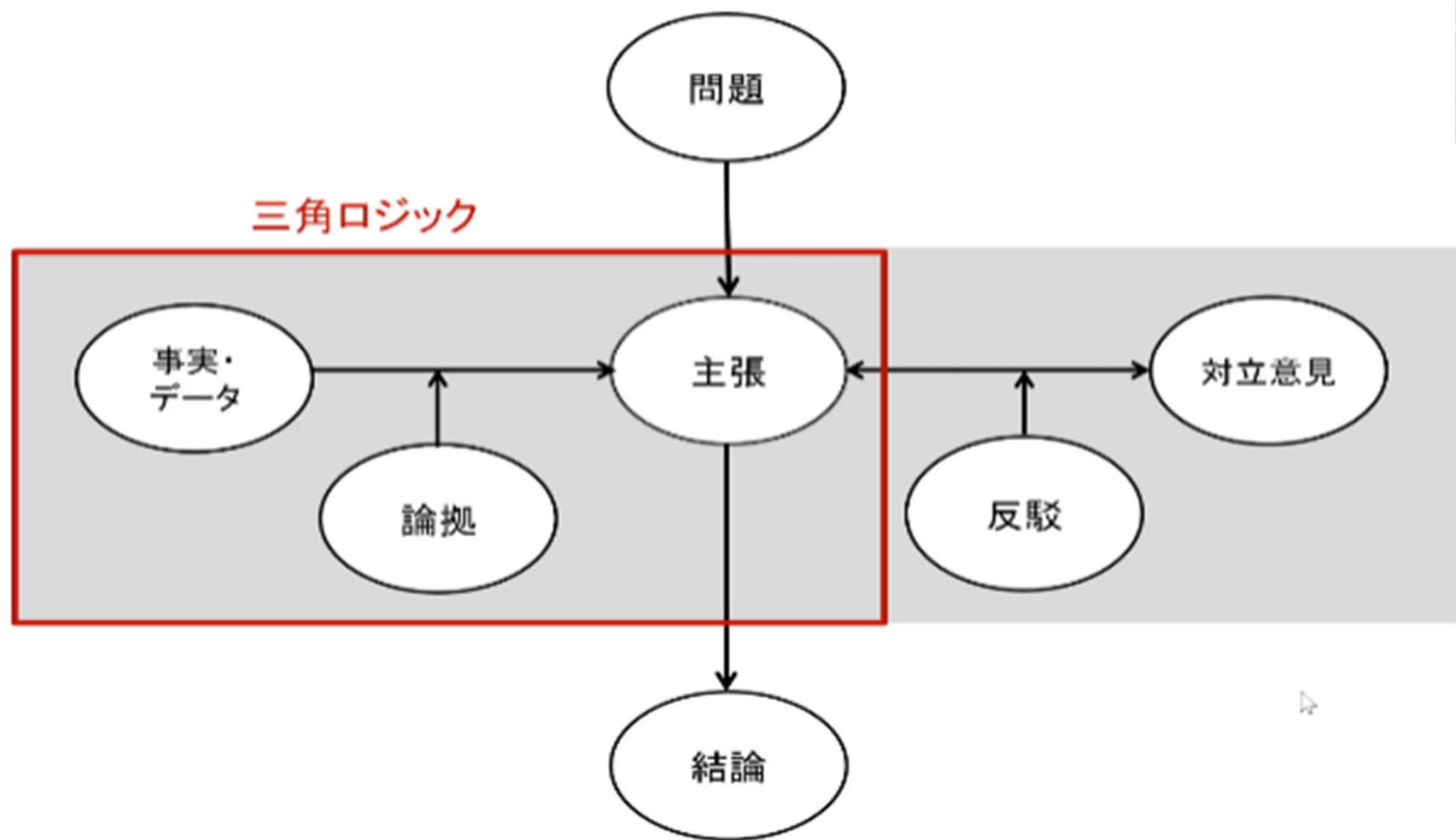
習得・活用・探究に基づく問いの立て方とモデルの活かし方

松下佳代先生(京都大学教授)

古川剣士(盛岡第三高校教諭)

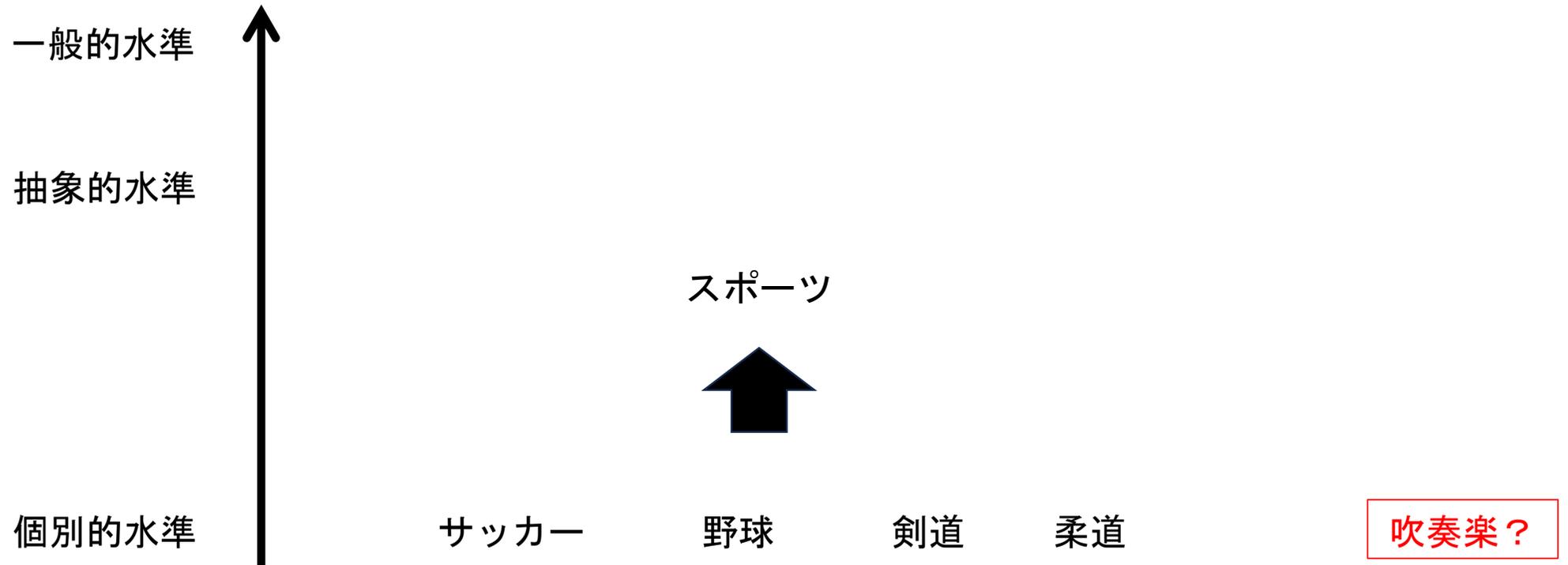
溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

対話型論証モデル



それではご覧ください

思考の水準移動



推論 inference

①演繹推論 deductive reasoning

利用可能な情報から論理形式に基づいて 結論を導く推論である。

大前提「すべての人間は死ぬ」
小前提「ソクラテスは人間である」
結 論「ゆえにソクラテスは死ぬ」

(形式) p ならば q 、 q ならば r

②帰納推論 inductive reasoning

複数の個別的・具体的な事象から共通性を見出し、一般的法則を導く推論である。

前提1「関西出身のA君は親切である」
前提2「関西出身のB君は親切である」
結 論「関西出身者は親切である」

関西出身者は親切である



関西出身 A君 B君 ... X君